

くことまで高めるための具体的な計画が必要である
エ 進行形や完了形、語の活用などの grammatical Forms は必ず全体構造の一部として他の構造と関連させて与えること。

オ 述語動詞についての理解運用に力を入ること。
カ 数少ない例文によって規則を教えるより、多くの種類や形の例文によって練習させること。

これらの方法を通して、いかなる種類の文においても、いかなる場合の文においても正しい語法で英文が話せ、書けるようにすることが望まれるのである。

今回の調査は標準学力検査ではないから、他県や全国の傾向と比較検討することなしには、解釈の適正が期したい。

また紙数の制約もあって、指導の細部にわたってのべきことができなかつたが追って発刊されるはずの報告書によって実践の方途を見出していただきたい。

第4節 付属図書館

教育調査研究所の付属施設としての図書室は、内容の充実と簡単な貸出し方法により益々利用度を深めてきた。

現在 図書 8,110冊

資料 3,512冊

の蔵書を備え、教育関係者、大学学生を利用の対象として教育専門図書及び教育資料各県研究紀要・各学校実践記録、研究物、各教科資料等があり、教育の現況を知り研修に役立つものと思われる。

今年度は破損及び時代の推移により要求に応じられぬ図書及び資料の整理に力を入れ現場職員の利用に応じるよう特に図書を購入して來たので今後利用が大いに増加するものと期待している。

0 総 記

| | |
|---------------|------------------|
| N O C 日本十進分類法 | 森 清 編 |
| 世界名著大事典 | 下 中 邦 彦 |
| 毎日年鑑 | 高木 金之助 |
| 時事年鑑 | 時事通信社 |
| 教育資料の検索と活用 | Cアレグサンダ ーJパーク |

1 哲 学

| | |
|--------------|---------|
| 人間の研究Ⅳ・人間と政治 | 丸 山 真 男 |
| 日本近世道徳思想史 | 渡 部 正 一 |
| 生き残る人々 | ホ ワ イ |
| 家族関係の心理 | 牛 島 義 友 |

2 歴 史

| | |
|---------|---------|
| 近世日本国民史 | 徳 富 猪一郎 |
| 大日本近世史料 | 東京大学出版 |

日本の百年廃墟の中から
法律学全集
旅のしおり

近世日本国民史93,94巻
日本の百年・新しい開国

鶴見俊輔 外
団藤重光
公立学校共済組合
徳富猪一郎
鶴見俊輔

3 社会科学

| | |
|---|---|
| 研究授業はこんなふうに 学習分析による授業の改善 これから作文指導 教育哲学 推計学による新教育統計法 国語学習指導の方法 読解と構造的思考 音楽科学習のつまづきと対策 学力の診断 現代学習指導法の問題点 現代教師論 読解のつまづきとその指導 知られざる教育 体育原理(上下) 算数数学の現代化 教育要論 法律学全集 問題をもつ子の指導法 性格と行動 家庭科の系統的指導計画 算数指導の科学 精薄児の特殊学級設置の要領 どろんこさんこんにちは 現代教育学青年の問題 研究報告集 水道方式による計算体系 学校づくりの記 教授二学習過程 昭和36年度版作品集 全国学校総覧 学習過程の実践的研究 こんにちのアメリカの 高等学校 現場の児童研究 法政執務 算数の教授 器楽の新しい指導 歌唱の新しい指導 | 岩 下 吉 衛 佐 伯 正 一 石 田 佐久馬 木 下 一 雄 岩 原 信九郎 平 井 昌 夫 沖 山 光 真 篠 将 外 坂 本 一 郎 杉 谷 雅 文 勝 田 守 一 沖 山 光 上 田 薫 丹 下 保 夫 遠 山 啓 小 沢 恒 一 山 田 栄 我 妻 栄 品 川 不二郎 堀 口 明 子 和 田 義 信 全日本特殊教育 研究連盟 大 石 三 郎 井 上 和 衛 全国教育研究所連 遠 山 啓 外 斎 藤 喜 博 川 合 章 小 学 館 文 部 省 砂 沢 喜代次 ミヤザキ ヒロシ 訳 八日市小学校 福島県職員研修 所 駒 林 邦男訳 真 篠 将 畠 中 良 輔 堤 温 |
|---|---|